

顔面神経麻痺によりボディ・イメージの変容を来した患者への中堅看護師の看護介入

4階西病棟

○山中 宏枝 濱田 久美子 中道 めぐみ 尾崎 珠里
千谷 真由三

キーワード：顔面神経麻痺 ボディ・イメージ 頭頸部癌

I. はじめに

耳鼻咽喉科領域における頭頸部癌の手術は、顔面神経麻痺を合併する可能性が高い。ボディ・イメージの変容に適応する過程には個人差があり、入院期間中の看護師の果たす役割が重要である。しかし、経験の浅い看護師は麻痺のおこる部位が顔というデリケートな部分の為に、どのように関わればよいかと悩みながら接している。

石鍋は「患者が主体性を回復し、生活の再構築に向けて意欲をもって取り組むための援助は、①状況を整えること、②現実認識を促すこと、③情緒的サポートをすること、④自信を高めることである¹⁾」と述べている。短い入院期間において適応まで関わることは難しい。私たちは、患者が自主性を持ち、退院後の日常生活の再構築に向けボディ・イメージの変容と向き合えることをひとつの目標と捉えた。そこで適応に向け中堅看護師がどのような看護介入を行っているか知ることで今後の看護や新人教育に活かしたいと考えた。

II. 目的

顔面神経麻痺によりボディ・イメージの変容を来した患者への中堅看護師の関わりを明らかにすることを目的とする。

III. 研究方法

耳鼻咽喉科病棟で5年以上の経験を持つ看護師5名に半構成的インタビューガイドを用い面接を行い、得られたデータを逐語録としKJ法²⁾で分析した。研究期間は平成19年7月から平成20年11月迄である。

IV. 倫理的配慮

所属施設の倫理委員会の審査を受け承認を得た。

対象者に書面で研究の趣旨を説明し協力を依頼し個人が特定出来ないようプライバシーの保護を保証すること、参加しなくても個人の不利益にならないこと、面接内容は研究内容以外に使用しないこと等を説明し同意書への署名をもって同意を得た。

V. 結果

対象者の平均経験年数は17年、耳鼻咽喉科病棟での平均経験年数は10.3年であった。分析の結果、【対処方法、手技の習得指導】【共感的・情緒的支援】【環境への配慮】【患者実像の把握】【情報収集】【信頼関係の構築】【家族支援】【チーム医療の活用・チーム活動の仲介と調整】の8つのカテゴリーが抽出された。

一般的なボディ・イメージの変容を来した患者への看護介入と比較した際、【対処方法、手技の習得指導】【環境への配慮】のカテゴリーにおいて特有の看護介入がみられた為考察に述べる。

VI. 考察

【対処方法、手技の習得指導】には、『個別性に沿った説明』があり、「眼軟膏の塗り方」「点眼やテーピング手技の取得・指導」などを行っていた。顔面神経麻痺は、表情筋の運動障害、構音、咀嚼障害、涙腺

の分泌障害と、二次的に起こる可能性のある角膜損傷、流涎、誤嚥を防ぐ為の対処方法を患者自身が身につける必要がある。又、女性に対してはテーピングをした上での目立たないメイク方法を提案しており個別性を重視した関わりを行っていた。

又、早期から患者自身が二次障害の予防を理解し、患者が自立して主体的に対処できるように関わっていた。この事は障害を直視し現実認識させるだけでなく、自信や主体的な取り組みの態度にも繋がっているものとする。

次に【環境への配慮】には、『プライバシーの配慮』『気分転換を図る配慮』があり、他者の視線から守るために「診察の順番を考慮する」「術後は個室にする」「面会制限を行う」という関わりや、「人目に触れない時間に散歩を勧める」関わりがあった。

中堅看護師は、個室収容や処置時に他患に会わないように配慮する、帽子、マスクの着用やカーテンを引くことの提案、環境への配慮を患者の立場に立った具体的な看護介入として行っていた。ボディ・イメージの変容が外観上に現れる為、環境、社会的要因から多くの影響を受けることが予測される。退院後はより外部環境の影響を多く受けるため動揺は計り知れない。そのような際に対応できるよう入院期間を通して徐々に外部環境に慣れるように援助を行っていた。

VII. 結 論

顔面神経麻痺によりボディ・イメージの変容を来した患者への看護介入には様々なものがあり、その中でも中堅看護師は対処方法、手技の習得指導、環境への配慮に重点をおいていた。ボディ・イメージの変容に対する受容は長い過程を辿る。中堅看護師の行う介入はまず患者自身が少しでもボディ・イメージの変容と向き合うことができるよう支える介入であると言える。

引用文献

- 1) 石鍋幸子:Nursing MOOK28 疾患、障害別リハビリテーションナーシング リハビリテーションと看護, 学習研究社, 6-7, 2005.
- 2) 川喜田二郎:発想法 創造性開発のために, 中公新書, 1993.